



みなさんは犯罪について、どう考えていますか。テレビやスマホのニュースなどで、「〇〇容疑者が逮捕されました。」という文面を一回は見たことがあるでしょう。そのとき、みなさんはどう思いましたか。「何故こんなことをしたんだ。」と呆れたり、「何を考えてこんなことをしたんだ。」と怒ったり、人それぞれ思い方は違うでしょう。ですが、「この人を更生させ、もう二度と犯罪をしないようにしよう。」と思ったり、「犯罪をする前にどうすれば、罪を犯さずにすむだろう。」と考える人は、おそらく一割に満たないでしょう。そこで今回は、犯罪を少なくするために、どうすればいいのか。また、その結果、どのような世界になるのかを、ぼくの想像で書いていきたいと思います。

まずは、「どうすれば、犯罪が少なくなるか」について書いていきたいと思います。人が犯罪をするのは、何かしらの理由があるのだと思います。おそらくそのほとんどが、社会や人への嫉妬や恨みでしょう。ならば、その嫉妬や恨みを出なくする世の中、環境をつくろうよと思うのです。もちろん、罪を犯す理由に嫉妬や恨み以外の理由はありますが、その環境をつくることによって、犯罪者の数は少なからず減ると思います。では、どうすればそのような環境をつくることのできるかを考えなければなりません。ぼくは、「日頃から悪口やかげ口、暴力や喧嘩をしない、しても気付いたらやめる。」ということをすればつくれると思います。もちろんこれ以外

にするべきことはあると思いますが、貢献はできるでしょう。

さて、次は、先程話した、嫉妬や恨みを出なくする世の中、環境をつくるということが実現したとき、その暁にはどうなるかについて書いていきたいと思います。おそらく、一人二人は減ると思います。ですが、もしも減らなかった場合、罪を犯す理由が恨みではなかったということになります。ならば、もう一度罪を犯す理由を考えて、どのような環境にすればよいかを検討した上で実現する、ということをもう一度すればよいのです。もし、罪を犯す理由が考えられないとき、仮に自分が罪を犯すなら、どういった理由で罪を犯すかを何通りもの可能性で考える。という方法を試してみたいかがですか。もうやっている方は問題なしです。

結局、ぼくは何が言いたかったかということ、罪を犯さないようにするためどうすればよいかということではなく、考えることから逃げないでほしいのです。ニュースで見たとき、「へーそうなんだ。」とか「何でしたんだろうね。ところでさ…」など、考えることをスッパリやめている人が、おそらく多いと思うのです。ぼくもそうだったので。とにかく、考えることをスッパリやめずに、「う～ん、」と少しだけではよくないのですが、少しだけでも、自分の頭で、本気で、考えてみてください。そうすれば、周りとは違う、罪をなくそうとすることに一歩貢献した、一人の“人間”になるのです。

